

本年度の長野県小児保健研究会 ヤングケアラーへの支援を考える



講演後の活発な質疑応答

2022年度の長野県小児保健研究会が9月10日(土)、本学図書館で開催された。一般発表と総会後、「ヤングケアラーへの支援を考える!」のテーマで市民公開シンポジウムを開催し、小児保健の場で重要なヤングケアラー問題の現状と課題、支援の方法などを学んだ。

特別講演では、立正大学社会福祉学部教授の森田久美子先生に「求められるヤングケアラーへの支援」について講演をしていただいた。講演では、病気や障害のある家族の世話をするヤングケアラーと呼ばれる子どもを支援する取り組みについて紹介された。また、2021年4月に改正された「子供・若者育成支援推進大綱」では、ヤングケアラーを「一般に、本来大人が担うと想定されている家事や家族の世話などを日常的に担っている児童」であり、「困難を有する子供・若者とその家族」に位置づけて、国として対応する方針を掲げた。厚生労働省は支援策をとりまとめ、長野県の自治体においては先駆的な支援

の取り組みを始めていることが紹介された。ヤングケアラーへの社会的対応の必要性が議論される社会的背景、ヤングケアラーの実態等を注視し、ヤングケアラーが健やかに育つことを支える社会の実現に向けて、地域にいる私たちにできることは何かを問われた。

講演では、長野県教育委員会事務局南信教育事務所学校教育課のスクールソーシャルワーカー(SSW)スーパードバイザー(社会福祉士の弓田香織先生が、「知っておきたい身近なヤングケアラー」長野県SSWからの報告」と題してお話しいただいた。2021年秋に県教育委員会により実施されたヤングケアラー調査から、本県にもヤングケアラーが多数存在することが報告され、地域ごとに特徴を捉えた対策が必要なことを示唆すると結論づけられた。また、調査結果及びSSWとして

出会うヤングケアラーとその家族の状況、そして自らが生育の中で感じてきたことに触れながら、各立場でヤングケアラーについてできることや持つておきたい視点について説明された。

も、長野県小児保健協会が開催することも健康週間を担当予定であり、「大切な子どもの歯を守るう」をテーマに10月3日(月)、朝日村のあさひ保育園で講演と歯科指導を行う。

(小児歯科学講座 教授 大須賀直人)